

# 防災だより

第 17 号

小田急金森泉自治会 自主防災隊

2022 年 7 月 3 日発行

今年5月、東京都は直下型地震被害想定を見直しました。都心部は木造密集地減少などで以前の想定よりも被害は減りましたが、町田市は以前と余り変わらないので安心してはいけません。

日本は大きな4つのプレートが複雑に重なり、大きな地震がいつどこで起きても不思議ではありません。先月、能登半島の先端辺りで大きな地震が2度発生しました。私たちは、常に備えておかねばなりません。

備えの基本は、自分がケガをしないことです。ケガをしては、家族を助け、隣近所や地域のチカラにもなれません。元気でいれば、世話にならずチカラにもなるでしょう！

備えとは平時の今やっておくことです。それが適切かどうかで、大地震発生時とそのあと平常に戻るまで生き延びる生活に、大きな違いが出てきます。

今回は、備えについて分かり易く説明した警視庁の冊子 **(回覧あり)** を紹介します。「地震のときはこうしよう！」というものですが、警視庁のホームページでも見ることができます。URLなどは、以下のとおりです。 **スマホでも見られます**

<https://www.keishicho.metro.tokyo.lg.jp/kurashi/saigai/jishin/index.html>

検索は、警視庁ホームページ

QRコード

↳ 安全な暮らし

↳ 災害に備える「地震のときはこうしよう！」



平時の備えとは？

発災した時や、その後は？

地域のルールを確認しましょう！

家族のルールを決めておきましょう！

家族みんなが知っていることが大切！

お父さんだけ知らないかも？

ご家族などみんな読んで、  
備えの確認・相談をしましょう！